

コロナ前後

・・・コロナ後の青写真は描けるのか・・・

駒宮博男

コロナ前



大気汚染で霞んだデリーのインド門

コロナ前の世界的課題

- ◆環境破壊・多様性の消失
- ◆世界的な格差の拡大
- ◆民主主義の崩壊
 - ・企業支配
- ◆過剰なグローバリゼーション
 - ・環境、格差の根本原因？
 - ・世界的サプライチェーン
- ◆レイシズム

日本特有の課題

- ◆70年代以来の言論統制
 - ・経済だけが正式な話題に
 - ・人畜無害な話題だけ！
 - ・政治的思考停止状態へ
- ◆格差拡大＋為政者の無関心
- ◆民主主義の機能不全
- ◆自治の消失
- ◆進まないエネルギー転換
- ◆進まない女性の社会進出

コロナで判明したこと



コロナで大気が清浄化

何が判明したか

- ◆ 過剰な移動・生産がストップし、大気が清浄に
 - ・ 大気以外も環境正常化
- ◆ 社会の下層がコロナの攻撃に
 - ・ 大量の失業者
(生活困窮者の激増)
(テレワーク可能者は郊外へ)
- ◆ 独裁的ガバナンスはコロナに弱い (中国は例外か?)
 - ・ アメリカ
 - ・ インド
 - ・ ブラジル
- ◆ グローバルサプライチェーンの脆弱性
- ◆ 女性リーダーの国は的確な対処?
 - ・ 台湾
 - ・ ニュージーランド
 - ・ フィンランド
 -他にも何カ国か

(補1)ベネチアの水路も……



ベネチアの運河の様子。地元住民は水の透明度に大きな違いが生まれたことに気付いた /Courtesy Marco Capovilla

(補2) 中国の大気汚染変化



新型コロナで中国の大部分が閉鎖された後、大気汚染レベルは大幅に低下したことがNASAの衛星データで分かる。大気の質をコロナの経済的影響の尺度と考えるアナリストも（英語音声、英語字幕あり）

インド、中国は、日本と無関係か？

- 多くの日本企業が、インド、中国へ
- 中国は今や最大の貿易相手国

- 日本の環境指標はどのように変化したのか？
 - 温室効果ガス排出量変化は？
 - 大気、酸性雨は？
 - 水質は？
 - 生態系の変化は？
 - ……誰も研究していない?????
 - （データはあるが、報道していないだけ??）

経済の回復とは、何をさすのか？



新しい社会へ



これは、断じて回復ではない
(元に戻すことは有り得ない)



戻してはならない状態

・・・コロナが与えた最後のチャンスを生かすために・・・

- 過度なグローバル化
・グローバル企業、マネーの世界支配
・環境破壊と格差拡大
・民主主義の崩壊
- 科学技術神話の継続
・限界を知ることのない科学、技術
- (経済)拡大主義神話の継続
・経済成長が社会を豊かにするという神話
- すべてマーケット依存の新自由主義
- 巨大国家群の暴走(独裁しか選択肢はないのか)
・アメリカ、中国、ブラジル、インド……

誰も描けず、または道程を示せない、 新たな社会の青写真

- なぜ描けないか？
 - ・ビジネス拡大だけが正義??
 - ・ESD⇒MDGs⇒SDGs: 危機は高まっているが
実はある程度描かれているが……
(しかし、この青写真は問題を内包している)
- 手掛かりをどこに求めるか？
 - ・グローバル化批判⇒ローカルへ
 - ・新自由主義批判⇒社会的共通資本へ
 - ・近代西洋そのものへの批判⇒東洋思想へ
 - ・唯物論批判⇒スピリチュアリズムへ
- 我々の手で描く“青写真”
- そして、実行へ！

青写真を描く上でおさえるべきこと

- ・・・ヘレナの、“Big Picture Activism”とは・・・
- ・・・ウエンデル・ベリーの“Limit”とは・・・
- ・・・シューマツハの“Small is Beautiful”・・・
- ・・・辻信一の“Slow is Beautiful”・・・
- ・・・宇沢公文の“社会的共通資本”・・・

- グローバリゼーションの大きな構造を知ること
- ウエンデル・ベリーの“限界”、“制限”
- “Big”から“Small”へ、“Fast”から“Slow”へ
- 新自由主義から、社会的共通資本へ
- 貨幣経済のみから、自給・贈与を含めた経済へ
- 利益・効率・成長主義から、本当の幸せ探究へ
- 関係性の遮断から、関係性の復活へ
- “男性性”優位社会から、“女性性”優位社会へ
・台湾、ニュージーランド、アイスランド……
- そして、グローバルから、ローカルへ

青写真作成で気になるところ

(描こうとする青写真は二極化しているのではないか?)
(特に日本人は、どちらかに振れやすい!)

- グローバリズム VS ローカリズム
(都会) VS (田舎)
- グラスルーツ活動 VS 政府への政策提言
(意思決定の手法として)
- エピソード・感覚的 VS 客観的データ・論理
(個人的意思決定) VS (組織的意思決定)
- 唯物論 VS スピリチュアリズム
- “中庸”を求めるには??
⇒ “Big Picture Activism”の重要性

とりあえずの正解は？

- 将来を決めかねている若者は、是非田舎に！
- “人生双六”の中でもやもやしている人は、是非、田舎に興味を持って！出来れば、体験すること！
- 政策決定者の皆さんは、まず、グローバル化の構造を正確に理解すること！
- より深い真理探究をしたい人は、近代そのものに疑問を持ち、どこに問題があるかを徹底的に追及すること！
- 既に動き出している人、組織も！！
 - ・若者の田舎移住は爆発的に？増加している！
 - ・再生可能エネルギーだけを使用する工場の出現
 - ・新たな働き方を求めて（テレワーク、週休3日、副業公認、ワーケーション……）